



農業女性 農産加工活動でパワーアップ



今、農産加工所を訪れると元気がいいの女性達が加工品づくりに取り組み、おいしい物を作り出しています。

農家の女性が生活改善グループやJ A女性部等で「自分の家で生産した物を上手に活用するため」に調理や、加工の仕方長年勉強してきた技術を生かしての加工品づくりです。

山武郡市では全市町村に農産加工所(室)があります。また、最近では女性起業として個人で、農産加工所を設置し営業許可をとって活動している人も増えてきました。

冬に作る味噌は、地元産の米と大豆を使って作られ、「二回食べたらもう他の味噌は食べられない程おいしい」とよく言われます。

味噌作りは家族が一年間食べる味噌が作れて、また、ギフト用にも使い、みんなにも喜ばれると仲間と楽しみながら張りきって行っています。

加工所では、味噌だけでなく、こんにやくや焼き肉のたれ等を作って共同加工したり、お惣菜

を作った真空包装して保存する方法を勉強しています。農家には、野菜や米等加工する原料がたくさんあります。加工所を拠点に女性の知恵と食の技術を生かして農産加工に取り組み、新しい山武の味を作り出したいものです。

各加工所は次のとおりです。加工内容が違いますので近くの加工所におたずねください。

加工所名と問い合わせ先

- 横芝町中央公民館
横芝町産業振興課
(☎821111)
- はすぬま味工房
蓮沼村産業振興課
(☎047518614938)
- 松尾町農村環境改善センター
松尾町農家生活改善研究会事務局(役場産業課)
(☎8017137)
- 山武町農産物食品加工センター
山武町役場産業課農林係
(☎04751893636)
- 芝山中央公民館千代田分館加工室
J A山武郡市千代田支所
(☎7811121)

文芸

俳句

身に余る望を胸に屠蘇を呑む
小林 順子

謠初和室明るき公民館
福田 幸子

刈りし株一直線の冬田かな
今関 茂生

試歩の道今では枯木の道となり
若梅あやめ

霜除けの薙を被り花の鉢
若梅あやめ

枯枝におみくじ固く結びあり
玉虫たけし

手のひらで郵便受の霜ぬぐふ
玉虫たけし

流木の黒き翳おき山眠る
戸村 静華

広重のおび締め春着むなだかに
戸村 静華

鶴舞ふや雲金色に初日の出
山口 一秋

からからと風吹き暮れる枯木屋
選者 山口 一秋

短歌

木守りと残し置きたる柿の実を首ながくして小鳥ついはむ
永藤 滋

通院の道はいづれが近きかと今日
は此の角曲がりて行きぬ
宇井 ちい

映像に知る村口史子が手の触るる
ほどの近きにクラブ振りたり
秋葉 悦子

電柱の明かり及びて山茶花の散り
しく花びら白く浮きたつ
西山満里子

いしづきにしめりし土のつきてゐる
夫の土産のなめこを洗ふ
八角 三枝

口元を動かし何を語ります今際の
姉は吾を見つめて
池田 春江

よき短歌詠むと花丸くださるをひ
そかに待てり八十路すぐ今
吉岡 信子

冬草の生え来し畑に薺はやあえか
に白き小花つけるつ
鈴木 やす

自転車で通学する少年が見知らぬ
吾れに「おはよう」と過ぐ
萩原 信一

マンションに目覚むる朝の陽は高
く鴉ははるか下辺に啼けり
佐瀬 初音

幼らの「としまがんばれ」の絵手紙
を病院のベッドにまたも読みをり
秋葉 とく

夫も吾もかたみに語ることもなく
冬芝の中の草を抜きぬつ
選者 斎藤つね子

